

# 市議会だより

市議会だより

## CONTENTS

- p2~3 主な議案
- p4~6 予算特別委員会
- p7 人事
- p8~p12 市政を問う! 一般質問
- P13 議会改革
- p14~15 委員会レポート



令和2年  
5月1日

令和2年  
3月議会号 **No.61**



の春

浮羽町流川桜並木

## 令和元年度 一般会計補正予算 (第6号)

歳入歳出それぞれ8198万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ164億8320万円としたものです。



### ●3月議会(令和2年第一回定例会)

会期 3月6日～3月27日 22日間

#### 【上程された議案】

議案 (令和元年度補正予算他) 26件  
追加議案 (市議会委員会条例一部改正) 1件

### 主な議案

#### 【主な歳出】

##### ▽「ふるさと創生基金」

2000万円の増額  
民間都市開発推進機構からのクラウドファンディング活用型まちづくりファンド拠出金を、ふるさと創生基金に積み立てるものです。

##### ▽「障害者の自立や生きがいづくり・障害児放課後等デイサービス利用」

5288万円の増額

グループホームや就労支援事業所の利用者が増加し、また、放課後等デイサービス等の給付が増えたことによるものです。補助率は4分の3が国県の補助となっています。



##### ▽「タブレットパソコン購入」

1億4199万円増額  
国が推進する「2023年度までに全小中学校で、児童生徒一人一台のパソコン整備」いわゆるGIGAスクール構想を踏まえ、国のロードマップを参考に、小学5・6年生と中学1年生の端末を整備し、加えて高速大容量の通信ネットワークに必要な校内LAN工事にかかる予算です。

近年は発達に障害のある児童が増えていることから、個々の児童の状況に寄り添い、誰もが安心して子供を産み育てられる環境の整備づくりは重要な施策の一つです。

# うきは



▽「あたたかい家庭と地域のふれあいの中で子どもが健やかに育つまち」

第2期うきはは市子ども・子育て支援事業計画の策定

可決  
賛成13名  
反対0名

子ども・子育て支援新制度に基づき、平成27年3月に策定した「うきはは市子ども・子育て支援事業計画」は令和元年度が最終年度となり、新たに第2期計画として、令和2年度から6年度まで事業計画の策定です。

▽「職員の任用・給与等」

うきはは市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

うきは市少人数指導特別教員の給与等に関する条例の制定

可決  
賛成13名  
反対0名

本年4月からの会計年度任用職員制度導入にあたり、少人数学級の指導特別教員については、会計年度任用職員には移行せず、任期付一般職とし

て採用するための条例です。

※条例を分けた理由

少人数学級の指導特別教員の給与が、県の教職員給与体系に準拠しているためです。

うきは市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定

【改正の主な内容】

▽入居者の収入

可決  
賛成13名  
反対0名

認知症や知的障害者に係る収入状況の報告が困難な方について、市において必要な書類の閲覧ができることとし、入居者の収入に基づく家賃の決定ができる。

▽債務不履行

敷金の取り扱いについて、賃貸借に基づく債務を履行しないときは、敷金を債務の弁済に充てることができ、入居者においては債務不履行に対し不服申し立てができない。

▽修繕

入居者が行う修繕の内容について、現行条例で

は判断できない内容が生じていることから、市が行う修繕について別途規則で定める。

※連帯保証人については存続していきます。

## 追加議案

可決  
賛成13名  
反対0名

うきは市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

うきは市行政組織条例の一部改正に伴い、**新設される**

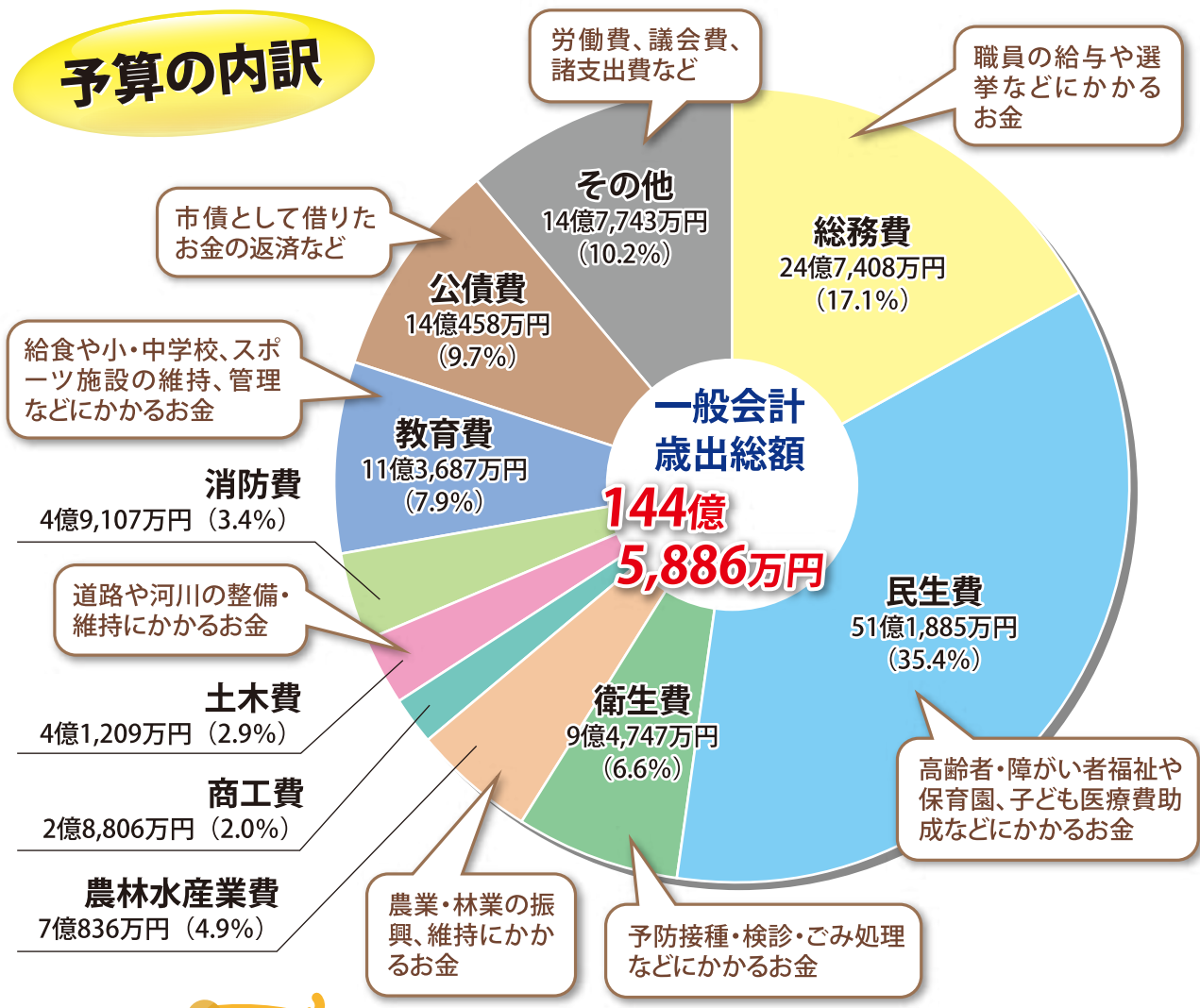
「都市計画準備課」を総務産業常任委員会の所管とするものです。

# 5,886万円

前年度比  
4.6%減

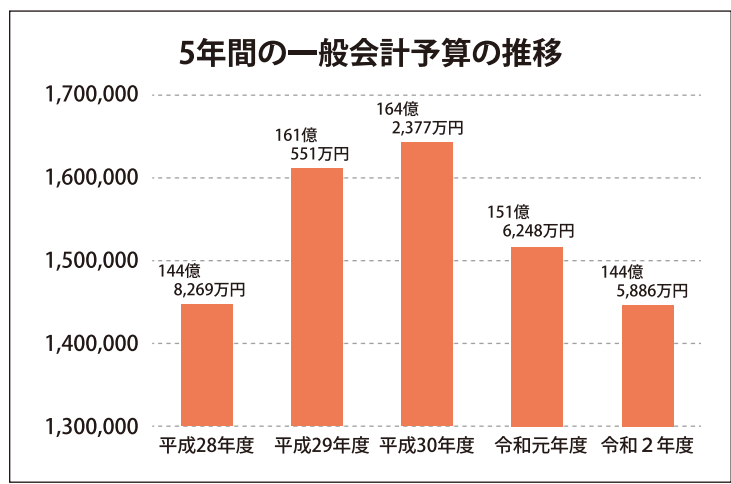
**可決**  
賛成13名  
反対0名

## 予算の内訳



### 市債(借金)と基金(貯金)の状況 (平成31年3月末・一般会計分)

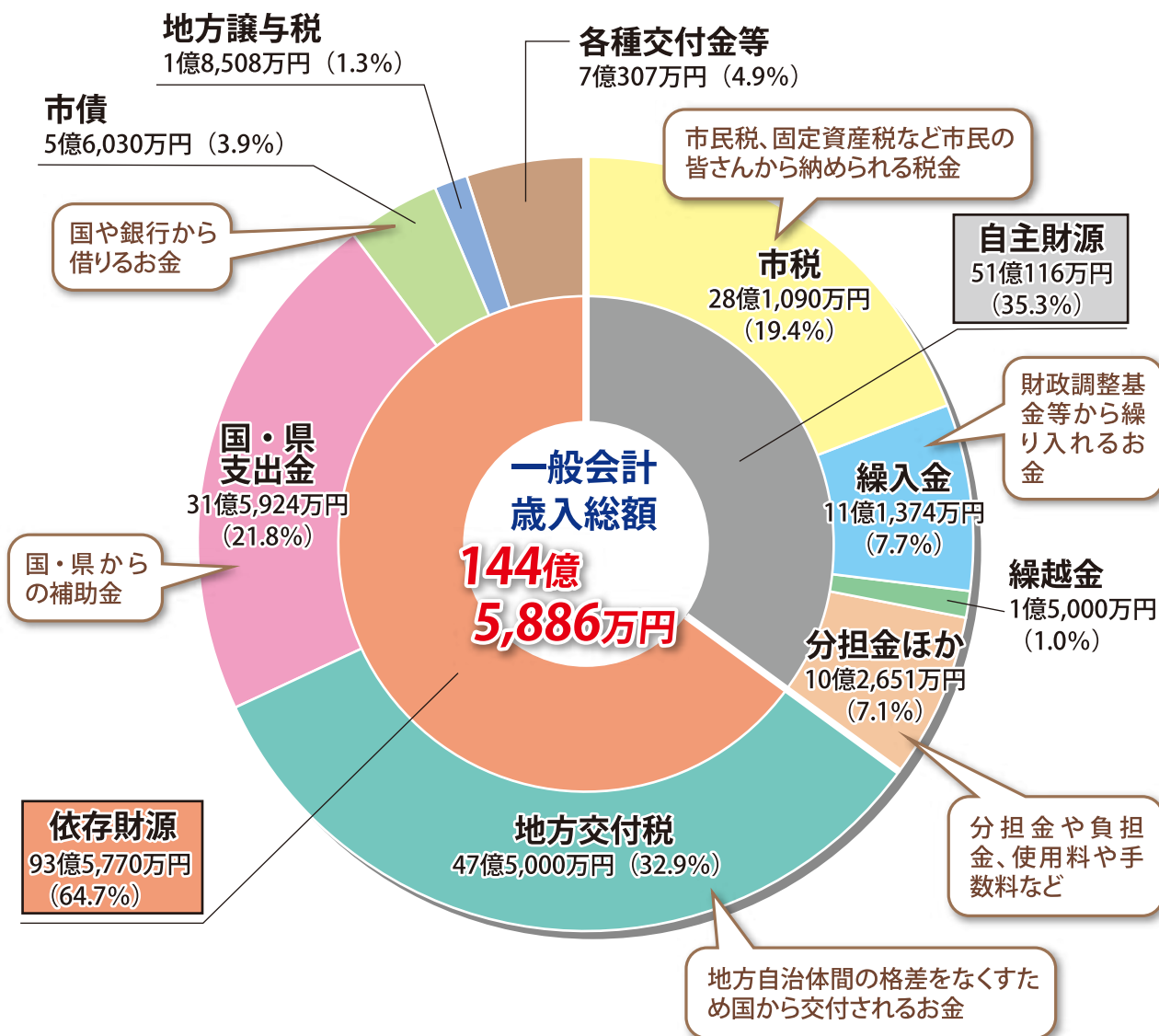
市債(借金)	125億0,266万円
市民一人当たり	約42万2,800円
基金(貯金)	112億8,998万円
市民一人当たり	約38万1,800円



新年度  
予算

# 骨格予算144億

令和2年度の一般会計は、歳入歳出の総額がそれぞれ144億5,886万円となりました。令和元年度当初予算と比較して7億3,622万円、4.6%の減となります。縮小社会に対応し、身の丈に合った財政運営を実施していく方針によるものです。(市長選挙を控えての骨格予算です。)



## 令和2年度一般・特別会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	後期高齢者医療	自動車学校
予算額	144億5,886万円	38億2,883万円	4億8,943万円	1億4,142万円
前年度対比	▲7億0,362万円	▲1億1,033万円	▲1,078万円	1,138万円

これまで特別会計であった4事業(簡易水道・下水道・農業集落排水・浄化槽整備事業)は、国の指導により令和2年度から公営企業会計(貸借対照表・損益計算書等)に移行した。

特に、簡易水道事業会計における論点は次のとおりであった。

◆小石原川ダム建設負担金(約11億円)

◆小石原川ダムの水源確保による水道事業計画

(議論の趣旨)

小石原川ダムは、うきは市の上水道事業に要する筑後川水系最後の水源として、平成23年に議会承認により建設事業に参入したものであり、今後の上水道事業に関わらず、ダム



完成間近な小石原川ダム

建設負担金は支払い義務が生じている。24億円のうち、2分の1を国が補助、さらにうきは市の負担額の55%が地方交付税で賄われる。

(審査の結果)

審査では、ダム負担金と上水道計画をめぐり、反対討論が二人の委員からなされたが、下水道事業会計ともに賛成多数で可決した。

佐藤裕宣委員

今回の予算、全体の委託料が380件で総額約8億円。委託でなく職員でやれる業務もあるのではないのか。

市長 やみくもな委託であれば見直しが必要。しかし、大きな方針として、地元業者など地域経済が回る効果も理解願いたい。

中野義信委員

消防団員の確保を心配している。提言書を提出したが、改善されたのは出初式のパレードだけで、幹部と団員の意識差、さらには県操法大会の必要性にも意見がある。

市長 これまで、団員の負担軽減を進めており、団組織の改革も行っています。今後何ができるか幹部と議論・検討していきたい。

予算特別委員会  
主な総括質疑

野鶴修委員

職員の条約定数は259人で、現状は29人不足している。市民のニーズが多様化する中、職員の負担が益々増えている。職場の実態を把握して、職員数を定数まで確保していただきたい。

市長 市財政は経常収支比率が100%に近い。30年後の人口予測などを見据えて組織体制をしっかりと考え、検討させていきたい。

熊懐和明委員

終活問題について、高齢者がお墓、家屋、土地等を相続しないまま亡くなっていく事案が多くなっている。今後も増えると思うが、生前に相談できる対応策を要望する。

伊藤善康委員

小石原川ダム建設事業負担金(約11億円)が予算計上されたが、市民は知らない。問題は上水道の接続率にあり、多くの市民が接続するよう市長が行政区を回って説明すべきではないか。



麻生教育長  
「続投！」



麻生教育長

今年5月23日で任期満了となる教育長の人事について、この4月から新学習指導要領が全面实施され、併せて小塩小学校が御幸小学校に統合するなど、学校現場は大きな変革期を迎えることから、引き続き麻生秀喜氏の任命が提案され、議会は全会一致で、これに同意しました。

(任期は3年)

教育委員会委員

再任 (任期は4年)



家永由里子氏

固定資産評価審査委員会  
委員の選任

中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行います。(任期は3年)



田辺高敏氏



河内繁登氏



野上美代子氏



吉田星一氏

請願

かわせみホール存続に関する請願

- ◇紹介議員 伊藤善康議員 鏈水英一議員 佐藤茂和議員  
◇請願者 御幸自治会長 佐藤春義 御幸地区区長会長 物部義則

(請願の趣旨)

かわせみホールは廃止の方向と聞き及んでいますが、今日まで多数の利用者がある。ホールは浮羽町民の文化施設の拠点であり、なくなれば一層の過疎化をきたすことから、存続を願うものです。

(総務産業常任委員会における審査の結果)

継続審査

陳情  
市民提案

上水道事業に関する市民への  
説明・公表することの陳情

- ◇提出者 中島健一  
(陳情の趣旨)

うきは市が計画する上水道事業の水源である「小石原川ダム」が完成するが、今後、上水道事業に向け、事業の負担額・財源のほか計画概要等の全容を市長が市民に説明するよう議会として要請提言すること。また、水道事業に関する議会としての見解を市民に説明・公表するよう求めるものです。

(審査結果) 不採択

現時点では上水道計画が具体化しておらず、議会としての見解を示す段階にないことから、時期尚早として不採択としたものです。



施設の統廃合は地元の理解を得てとあるが



なかの よしのぶ  
中野 義信 議員

所管に状況を聞きながら対応したい(市長)

**中野** 今まで市の大きな行事は、かわせみ・白壁ホールで交互に行われていたが、ここ2年ほどは白壁ホールになっている。昨年のり色ふるさと館が建設され、施設利用が吉井中心になっているのではないかと。中野 行政改革委員会からの答申書に、統廃合の実施は利用者、地元、その他関係者の理解を得て、行政の信頼を失わないように努めることとある。市長 市民への周知は、所管に状況を聞きながら対応したい。

**市長** かわせみホールは総合管理計画で、集客を伴うホールの利用を中止し、当面はステージ練習等に限定していることを踏まえ対応している。  
**中野** 姫治地区の小学校3校が統合され、さらに、文化施設の拠点であるかわせみホールがなくなるかと、なお一層、過疎化が進み、ひいてはうきは市全体の人口減少に拍車がかかるのではないかと。市長 縮小する社会で、

1. 市内のホール

施設名	建築年	使用回数	利用者数
かわせみホール	昭和56年	1,439回	51,617人
白壁ホール	昭和60年	958回	29,181人

※使用回数と利用者数は平成30年度実績

2. 合併後の人口

地区名	H17年4月	H31年4月	減少数	減少率
吉井町	17,525人	15,878人	1,647人	9.4%
浮羽町	16,576人	13,694人	2,882人	17.4%
うきは市計	34,101人	29,572人	4,529人	13.3%
山間部4地区計	2,196人	1,393人	803人	36.6%

市役所職場環境向上の取り組みは



さとう ひろのぶ  
佐藤 裕宣 議員

人事評価制度等を活用し人材育成に取り組む(市長)

**佐藤** 若年層の早期退職が増えている、また病氣休職者も数名いるが原因をどうみるか。市長 家業を継ぐため、その他結婚等の諸事情により退職されている。病氣休職者は現在5名いるが、4名がメンタル疾患によるもの。職員の健康管理については極めて重要視していかねばならない問題だと認識しており、産業医の健康相談等を通して取り組んでいる。病氣休職者や中途退職者が出ることは、行政サービスの低下につながる。全ての職員が、やりがいを持って安心して働ける職場環境づくりに努めてまいりたい。

**佐藤** 優秀と認められる会計年度任用職員の正規



市役所職員の窓口対応

●●市民参加のまちづくり  
佐藤 市民参加のまちづくりに向けての取り組みは。

- 次期市長選への意向
- 子ども・子育て支援

その他の質問



## 下校時に防犯灯が少なく薄暗い路が怖い



うの きょうこ  
上野 恭子 議員

## 生徒さんに実情を伺い地域と協議し対応(市長)

**上野** 究真館高校生との意見交換会で薄暗い通学路が怖いとの意見。全国的に色んな事件があり訴えは確認すべきと思う。

**市長** 学生の安全安心を確保する為、防犯灯設置は大切な事と理解をしている。生徒さんにも実情を伺いながら地域とも協議をしながら対応について検討を行う。

要な認識を持っていると、業計画アンケートから、このことであつたが、安全な環境をお願いしたい。

**市長** 平成30年12月一般質問で答弁をしているが、うきは市まちづくり市民アンケートでも公園設置要望が寄せられ、また第二期子ども子育て支援事

- ・中学生対象としたピロリ菌検査及び治療
- ・図書館利用促進

●●公園を中心としたまちづくりについて

**上野** 幼児から高齢者が一堂に集い、繋がる街並み公園設置はできないか。子育て世代からの要望もあると聞くし、パブリックコメントもあるのではないか。市長も前回の答弁で公園整備は子育て環境改善や、高齢者の健康寿命を延ばす為に大変重



安心安全を見守る防犯灯

## 「うきは市業務継続計画」感染症災害に対する明記がない



やりみず えいち  
鎌水 英一 議員

## 教訓を生かして感染症対応のBCPを

### 早急に検討していきたい(市長)

**鎌水** 今回の新型コロナウイルス、ウイルス、連携中枢都市圏・久留米大学との連携はとれていたのか。

**市長** 連携協定を結んでいける大学・自治体との連携についてはやっていない。広い範囲での協力要請、万が一そういうことになれば、うきは市単独

- 個別施設計画策定前の課題、特にホール(かわせみホール)・文化財関連施設について伺う

**鎌水** ホールについて、将来の人口規模などを考えて、1つの施設に集約するのが適当だとは承知しているが、文化財関連施設も老朽化し、建替えの時期でもあり、この2つの施設(ホール・歴史民俗資料館)市民の意見を含み、現状での具体的な方針は。

**市長** かわせみホールは広い展示スペースや研修室があり、歴史民俗資料館等への転用は課題解決につながる。しかし、施



かわせみホール&浮羽歴史民俗資料館

設の老朽化もあり、期限を定めて解体も視野に入れ、両面を含んで、施設の有効活用を市民の皆さんと協議しながら検討する方向。また、計画策定前の指摘はしっかりと承って考えさせていたいただきたい。

その他の質問  
・法改正や法改正案について

## うきははレインボーファームの 今後の運営方針は



のづる おさむ  
野鶴 修 議員

## 引き続き、新規就農者の育成支援、中山間地域等の 農業振興に取り組んでいきたい(市長)

**野鶴** 今年度の決算状況が赤字になるようだが、財政支援もない中で新規就農者育成や中山間地域等の活性化を行うのは無理ではないか。

**市長** 令和2年度は経営アドバイザーによる経営改善・地域おこし協力隊を含めた人材確保、またJAにじと支援を含めた

協議を行っている。

**野鶴** 赤字決算の要因はトマトの価格が下落したことにある。現状のままの体制では、これ以上の管理運営はむずかしいのではないか。

**市長** トマトの生産については営利部門、新規就農者の育成支援・中山間地の振興は公益部門、こ

の部分を引きつと整理して、支援を進めていきたいと思っている。

**野鶴** 役員の人事体制について、中長期的な計画性が感じられないが。

**市長** 現在JAにじと今後を含めた体制や支援策について協議を行っている。今は、具体的な回答は控えたい。

**野鶴** 外国人労働者の受

入れをこのレインボーファームで実践できないか。  
**市長** 現在、JAにじと協議を行っている。組織のあり方の中で、併せて議論していきたい。

その他の質問

・会計年度任用職員制度の導入について  
・空き家バンク制度の周知について。

知について。



レインボーファームが管理する小塩真実野団地

## 市長二期目の総括について伺う



さとう たんよう  
佐藤 湛陽 議員

## うきははブランドを推進し、 産業や地域の再生に取り組んだ(市長)

**佐藤** ①第2次総合計画、②ルネッサンス戦略、③地域包括ケアシステム、④教育大綱の成果と課題は。

**市長** ①は、うきはブランドづくりとシティプロモーションの推進を掲げ、うきはブランド推進課を設置し地域資源を生かした取り組みを展開している。

②は、コミュニティ・産業・地域の創造的再生を基本理念に、各種プロジェクトを実行し、人口減少の抑制と持続可能な地域づくりを進めてきた。

③は、平成27年度より事業を開始し、現時点では在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、生活支援体制の整備がほぼ整いつつある。

④は、教育大綱に4つの基本施策を定め、とりわけ学力向上と生きる力を重視している。

●●●事業の見直しに向けて

**佐藤** 予算編成にあたり行政改革委員会の答申がどう生かされたのか。

**市長** 答申に基づき、平成29年に公共施設等総合管理計画を策定した。令和2年度中に個別計画を策定予定であり、スクラップ・アンド・ビルドを念頭に置いて、事業や組織に対する見直しを行うように心がけている。



うきは市教育大綱(4つの基本施策)

## 学童に就業規則策定を

### 本年度より整備したい(市長)

**岩淵** 実施要綱の雇用契約書を見直しできないか。  
**市長** 同様に見直しを行うっていききたい。

**岩淵** 学童保育の収支の予算・決算関係をどのように検証しているか。

**市長** 4〜5月に照合し適切な予算の執行を確認し、特に繰越金が多い場合は適切に執行するように個別指導を行っている。

**岩淵** 単価を上げ委託しているが事業者が質の向上の見通しを持っていないのではないか。

**市長** 地域の子育て支援量の拡充や質の向上を進め子供・子育て支援はしっかり対応していきたい。

**岩淵** 学童保育に従事する職員に対し、条例で定められた職務に見合う処遇改善を図れないか。

**市長** 支援員の処遇改善は大きな課題と認識し、本年度に就業規則及び給与規程等の整備を図り、職務に見合う一定以上の水準になるよう積極的に指導していきたい。

**岩淵** 市内小学生の虫歯歴比率、中学生は1人当たり虫歯本数多い傾向にあるが保健指導の所見を。

**市長** 永久歯列が完成する小6から中学1年の保健指導が重要で歯科受診を勧めている。

### ●● 児童生徒の歯科検診

**岩淵** 市内小学生の虫歯歴比率、中学生は1人当り虫歯本数多い傾向にあるが保健指導の所見を。

**市長** 永久歯列が完成する小6から中学1年の保健指導が重要で歯科受診を勧めている。



子育て施策の充実を



いわぶち かずあき 岩淵 和明 議員

## 今後のうきは市の財政状況は

### 持続可能な行財政を行うためには、人口減少にどう対応するかである(市長)

**組坂** 主な財源である市税と普通交付税の今後の見通しは。

**市長** 税収は人口減少や少子高齢化に伴い、減少傾向と認識している。普通交付税は毎年見直されるため、今後の見通しは非常に困難であるが、近隣市も減少傾向にあり、厳しい財政状況になると認識している。

**組坂** 自治体の財政力を示す財政力指数は、県内でどのような状況にあるのか。

**市長** 平成30年度決算におけるうきは市の財政力指数は、福岡県内の市の中では、嘉麻市に次いで下から2番目に低い状況である。

**組坂** 財政状況が逼迫している中、今後どのような財政運営を行っていくのか。

**市長** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**組坂** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

### 人口減少にどう対応するかである(市長)

**組坂** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**市長** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**組坂** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**市長** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**組坂** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**市長** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。

**組坂** 持続可能な財政運営を行うためには、人口減少の抑制に努めていく。同時に、公共施設等総合管理計画に基づき施設のスリム化、適性化を進め、効果的な財政運営を行っていく。



くみざか きよまさ 組坂 公明 議員

(市債残高) (単位：千円)

会計名	30年度末現在高
一般会計	12,502,665
特別会計	10,436,495
合計	229億3,916万円

(基金残高) (単位：千円)

会計名	30年度末現在高
一般会計	11,289,981
特別会計	346,502
土地開発基金	454,311
国民健康保険高額療養資金貸付基金	7,000
合計	120億9,779万4千円

## 2020年度予算について



たけなが しげみ  
竹永 茂美 議員

PTA連合会要望の小3・中1の35人学級は  
要望にすべて答えることはできていない(市長)

**竹永** PTAが負担して  
いる施設環境費、図書費  
(注)、施設整備費、衛生費、  
運動会費、入学式花代、体  
力テスト診断料は市負担  
ではないか。

(注)学校図書館法第2条「図  
書、視覚聴覚教育の資料…を  
収集し、整理」と自治体に整  
備義務づけている。

**市長** 法的にも必ず地方  
自治体が負担することに  
なっていない。

**竹永** 小石原川ダム建設  
事業負担金10億826  
5万円、筑後大堰建設事  
業負担金1829万円は  
上水道を引かなければ約  
24億円は返還しなけれ  
ばならないのか。  
**市長** 上水道事業をやる  
ことで、水資源開発機構  
が厚労省の補助金12億円

をいただいていますので、年度ニーズに応じて教  
事業がなければ合計約2 育・保育の量を見込み  
4億円返還ということに 必要な予算確保を行って  
いる。

**竹永** 第2期子ども・子  
育て支援計画で児童保育

所・放課後児童クラブに  
対する人員や予算は拡充  
されたのか。

**市長** 5ヶ年計画で、各

その他の質問

・市衛生委員会と学校総  
括健康委員会未開催問  
題  
・超過勤務上限月45時間  
規制通知厳守と明文化



## 「高木市政」を総括する



えとう よしみつ  
江藤 芳光 議員

「元氣と幸せを！つながろううきは」を掲げ  
市政に努めてきた(市長)

**江藤** 今期の主要な政策  
について自己評価を伺う。 急激な人口減少による  
市税、地方交付税等は いかなければならぬ。

**市長** 重点施策として、 減少する一方、扶助費  
「地域資源を活かした地 (医療費等)の増加は  
域創造による産業振興」、避けられない状況にあ  
り、何としてもうきは  
「自治会中心による地域  
コミュニティの再生」、  
市の豊富な資源を活か  
しながら自主財源を稼

- ・自治協議会の運営
- ・防災対策
- ・教育大綱(生きる力)

文化香るまちづくり」の  
ほか、環境・防災、人口  
減少社会に向けた行政運  
営など7項目を掲げ、活  
力と魅力あるうきは市を  
めざしてきたが、自己評  
価は難しく、市民の皆様  
から厳しいご指摘がある  
ことは十分に承知をして  
いる。

**江藤** 特に、人口減少等  
による危機的な財政運営  
(上水道事業を含む。)  
にどう対応すべきか。

**市長** ご指摘のとおり、



高木市政を問う！(今年6月は市長選挙)

## 議会改革特別委員会

議会改革特別委員会において、ため池改修に伴う調査及び市内のため池現地調査を行い、『ため池改修等に係る受益者分担金の見直し』を執行部に要望していたところ、令和2年度から次のとおり見直されました。

### 農業用ため池のうち、防災重点ため池の改修等に係る受益者分担率が10%から、下記により負担率軽減されます！

- ①規模、維持管理、農業用機能をはじめとした農業用施設の特性による軽減
- ②防災機能等による軽減

※分担率10%から①及び②の軽減により、受益者分担金割合は「**0.4%～4.2%程度**」となります。また、受益者数による負担金の均衡を図るため、**1戸当たりの負担金上限額が10万円**とされました。

### うきは市議会災害対策会議を設置！ (新型コロナウイルス感染症対策)

うきは市議会では、全国で感染症の広がりが懸念される中、議会運営が滞りなく継続して行えるよう、2月28日にうきは市議会BCP（業務継続計画）に基づき、「うきは市議会災害対策会議（新型コロナウイルス感染症対策）」を設置しました。

併せて、議会の全員協議会において、市が設置した「新型コロナウイルス感染症対策本部」の対応・対策について詳細に説明を受け、議会から「新型コロナウイルスによる飲食業や旅館等の減収はどの程度なのか、その実態調査及び把握に努めること。そして、支援につなげていくことが急務ではないか、市としての独自の支援策は考えてないのか」等の質問や確認を行いました。



全員マスクを着用しての3月定例議会

### 果樹農家の実態に関する調査（果樹農家との意見交換会）

◆調査日時 令和2年1月27日 午後7時～ ◆場所 うきは市役所3階 大会議室  
 ◆調査の要旨 うきは市の基幹産業は農業であるが、高齢化の進行や新規就農者が少ないことから、農業従事者は年々減少しています。また、近年の集中豪雨や台風等の気象状況により、多大な被害を受けている中、果樹農家のみなさんがどのように今後の農業について考えているか、意見交換会を実施しました。



果樹農家との意見交換会

#### ①現状と所得向上策について

・作れば売れる時代は過ぎていく。出荷者が消費者に自分の品物をアピールすることが大切。

・常に知識を深め、プライドを持って取り組まなければ、後継者や新規就農者は増えてこない。

②将来の展望について  
 ・気象が読みづらく、柿

やブドウの収量、収入が安定しない。品目変換等のチャレンジに対し、行政からの補助があると、可能性が広がっていく。

・若い人たちが作業しやすい果樹農業の環境を、農協と行政が連携して考えてほしい。

③後継者及び担い手対策について  
 ・外部からの受入れ体制を農協や行政につくっていただきたい。

・担い手を募集するということを発信することが大事だと思う。

#### 【所見】

有害鳥獣対策、後継者問題、荒廃農地対策など切実な課題がわかる意見がだされました。今後は農家、行政、農協が一体となり課題に取り組む必要があると感じました。

### 人口減少等空き家対策に関する調査

◆調査日時 令和2年1月30日～31日 ◆場所 島根県江津市役所  
 ◆調査の要旨 うきは市の人口は、合併当時の平成17年3月末は34,201人、令和元年12月末では29,339人と4,762人が減少しています。今後も人口減少は進むことが推計されており、それに伴い空き家が増えることが想定されます。市民との意見交換会でも、この空き家問題が意見として出されていました。そこで、島根県江津市が先進地として紹介されていたので、空き家対策の取り組みを調査に行きました。

#### 【江津市の主な内容】

江津市は島根県中央に位置する市であり、高等学校「地理A」の教科書で「東京から一番遠いまち」として取り上げられましたが、これを逆手にとってイベントを開催し、江津市の売りにし、「守りの定住対策」と「攻めの定住対策」を実践しています。中でも地域コミュニティ組織と一緒に空家バンクについて取り組むことにより、空家バンクへの登録を促進しています。

#### 【所見】

「企業誘致から人材誘致へ」と方針を転換し、仕事を「創造」できる人材を呼び込むことで、空家の解消や人口の社会減少の抑制につながっています。市の現状課題を分析・把握し、解決に向けた取り組みが重要だと思いました。



栄えていた頃の江津駅前商店街

## 放課後子ども総合プランに関する調査

- ◆調査日時 令和2年2月3日(月) ◆場所 愛知県東海市役所
- ◆調査目的 今後働き方改革により女性の社会進出が求められ、放課後児童クラブのニーズはますます増加することが予想されています。また、地域によっては子供会が機能せず、地域での体験活動が十分でないという現状もあります。そこで愛知県東海市が先進的に取り組む「放課後子ども総合プラン」について調査を行いました。



### ◆放課後子ども総合プランとは

共働き家庭の「小1の壁を打破すること、次代を担う人材育成のため全ての就学児童が放課後を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした「子ども教室」と「放課後児童クラブ

プ」の計画的な整備等を進めることを目的とするものです。

### 【調査結果】

事業を推進するにあたり、社会教育関係者や学校関係者・PTA関係者を中心に運営委員会を組織し、各小学校に事務局を置き両事業の年間プログラムなどの具体化を図っていました。

### 【所見】

「地域全体で子育て」というコミュニケーションの考えにも通じることでもあるのですが、関係部署が連携し、子育て支援の面からも、すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動が行える居場所づくりを進めていく必要があると感じました。

## 糖尿病・腎臓病の重症化予防に関する調査

- ◆調査日時 令和2年2月4日(火) ◆場所 愛知県蒲郡保健医療センター
- ◆調査の目的 国は保険者努力支援制度等により、自治体の重症化予防の取り組みを促進し、昨年3月には「糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き」を作成するなどして、地域のかかりつけ医や専門医、医師会と行政が包括的な連携体制を構築することを求めています。愛知県蒲郡市はいち早くネットワークづくりに取り組んだ先進地であり調査を行いました。



### 【調査結果】

全庁的な健康づくりの取り組みとするため、若手から係長までの職員を集めてプロジェクトチームを発足させ、様々な健康事業の推進を行っていました。

例として、国保データベースを用いたデータ分析により、市民の健康状態を把握し効果的な保健指導につなげたり、保健指導の効果を上げるため、参加者のモチベー

ション向上のための取り組みとしてインセンティブ事業も併せて実施しています。

### 【所見】

今回の調査で、蒲郡市が市民の健康を第一に考え、市長のトップダウンのもと全庁挙げて推進してきたということが理解できました。

人工透析は機能が低下した腎臓に代わり、機械で血液の老廃物を取り除く方法で、金銭的にも、身体的にも大きな負担となります。さらに糖尿病は、心筋梗塞や脳梗塞などリスクが高い病気を併発する危険も指摘されていることから、本事業については委員会として行政に対し、今後さらなる推進を求めていると考えています。



小塩小学校、お疲れ様でした。  
素晴らしい思い出をありがとう…。

「うきは」パノラマ

小塩小学校  
「146年の歴史に幕…!」



昭和20年(75年前)の小塩小学校

資料・写真提供 小塩地区「佐藤好英氏」

姫治、妹川小学校につづき、本年3月をもって、中山間地の小学校はすべて廃校となりました。

小塩小学校は、明治7年に創立、146年間、卒業生4200人余り、脈々とした歴史が、この「校歌」に刻まれています。

作詞・作曲 山崎 正樹

一 東浮羽の地をしめて

山紫に水明けき

名も姫治の里中は

我等の学ぶ学舎ぞ

二月雲花のうるわしく

仕え来れる産土の

小塩の神の守ります

我等の学ぶ学舎ぞ

編集後記(2年間の総括)

うきは路は、新緑まぶしい初夏を迎えています。世界は恐怖に渦巻く「新型コロナウイルス」の猛威によって、危機迫る緊縮の日々がつづき、世界経済は崩壊の危機に瀕しています。

市議会も、市役所と一体となって政府等の情報・動向を把握し、市民の感染防止を最優先に死活の地域経済を見守りながら、市民への協力と情報提供に向け懸命に努めています。

さて、3月議会は毎年、新年度予算が主な議案となります。今年6月に市長選挙が行われることから「骨格予算」として、行政

運営等に必要な人件費や事務経費など、当面の予算として認めました。

今回の6月議会は、今期2年の折り返しとなり、議長をはじめ、私たち広報委員も新たなメンバーに代わります。この2年間、委員の個性と能力、そしてやる気を結集して「市民に、読まれる広報づくり」をめざし、何とかいい広報(作品)ができたと思っております。

次回から新体制により、また違った紙面をお届けできると思っております。どうぞご期待ください。(委員長)

「うきは」未来への論戦！  
議会を傍聴しませんか。

- ◇6月議会は  
6月5日(金曜日)開催予定
- ◇一般質問は  
6月8日(月曜日)  
9日(火曜日)  
2日間の予定です



発行責任者	議長 柳川 正男
委員	江藤 芳光
副委員長	鏑水 英一
委員	野鶴 修
委員	佐藤 裕宣
委員	組坂 公明
委員	佐藤 茂和

議会事務局 TEL 75-4990  
FAX 75-3342